

ひまわりのたね

令和4年5月 No.92

(奇数月発行)

ひまわりのたね

編集部

港区ボランティア・市民活動センター(港区社会福祉協議会内) 〒552-0007

港区弁天2-15-1 TEL 06-6575-1212 FAX 06-6575-1025



消しゴムはんこを作って手紙を送ってみよう!

港弁天郵便局の池山局長さんが先生になって「消しゴムはんこ」を教えてくださいます♪

日 時 令和4年6月22日(水) 9:30~11:00

場 所 港区社会福祉協議会

対 象 どなたでも

定 員 10名(先着順)

材料費 無料

申し込み 電話・メール・来館にて名前・住所・電話番号・年齢をお知らせください

※新型コロナウイルス感染の状況により、中止させていただく場合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。

おもちゃドクター募集中!!

子どもたちの壊れたおもちゃを無償で修理することで、「物を大切にする心」を伝えています。

地域のイベントなどにも参加し、地域との交流や

ドクター同士の交流を図っています。

一緒に楽しく活動してみませんか。

見学だけでも構いません。お気軽にお越しください。



活動情報

◎港区こども・子育てプラザ

毎月第1土曜日 13:00~16:00

◎港区社会福祉協議会 fuku cafe

毎月第4火曜日 13:00~15:00

グループ名: おおさか・みなと・おもちゃ病院



壊れたおもちゃをお持ちの方も、お越しくださいね。

(場合によっては、おもちゃの入院が必要なことや、なおらないこともあります。ご了承ください。)



この人にスポット!

こんにちは! この春から入職してボランティア担当になりました岡田です。まだまだ分からないことも多いですが、地域で活動されている皆さんと一緒に、より一層、地域を盛り上げていけるサポートを全力で取り組んでいきます! まだまだコロナ禍ではありますが、少しずつ地域に出向いていきたいと思っています。ボランティア活動されている皆さんと直接お会いできるのを楽しみにしております。これからよろしくお願いいたします!



すべての申し込み・
問い合わせは

〒552-0007 港区弁天 2-15-1 港区社会福祉協議会、港区ボランティア・市民活動センター1階 fuku cafe
TEL. 6575-1212 FAX. 6575-1025 メール: himawari@minatoku-shakyo.com

fuku cafeはボランティア・市民活動をされる方々のためのスペースです。お気軽にご相談ください!

新型コロナウイルス感染予防対策のため中止になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

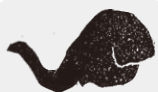


6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



**ダンボの会
定例会**

偶数月第1月曜日
15:00~16:00

傾聴
ボランティア
グループの定例会



**おもちゃ
相談室**

毎月第4火曜日
13:00~15:00

ボランティア
グループ:
おおさか・
みなと・
おもちゃ病院



予約制
1日
4組限定



**パソコンで
楽しもう♪**

毎月
第2・4木曜日
13:00~15:00

ボランティア
グループ:
パソコン苦楽部



**子育てボランティア
交流会 定例会**

毎月第1水曜日
13:30~15:00

個人登録されている
子育てボランティア
の定例会



**折り紙で
楽しもう!**

しばらく
お休みの予定

みんなで
折り紙を
楽しもう!

予約制
1日
3組限定



**バルーン
アート教室!**

毎月第4金曜日
10:00~12:00

季節に合った作品を
教えてくれます。
参加費 200円

ボランティア:
川真田さん、川添さん

6・7月は
グループの
都合により
お休みします



café de ひまわり

毎月第3水曜日
11:00~13:00

好きな
飲み物 **100円**

ボランティア
グループ:
café de ひまわり

雑記

たまたま追い越したタンクローリーから、車が執拗に追い回される。ついに命まで脅かされ、車の男性は…スティーブン・スピルバーグ監督の映画『激突!』のあらすじである。真意のわからないまま追いつめられる男性の恐怖が、見る者の心に迫る。以前から頻繁にテレビ・新聞等で取り上げられ、車載カメラが設置されているにもかかわらず、何故このような事件が全国で幾度となく発生するのか。これも新型コロナウイルスによる閉塞感・危機感・焦慮感・鬱積感等々の影響であるかもしれないが、これからも私たちは常に対処方法を考えておかねばならないのは残念である。(佐)